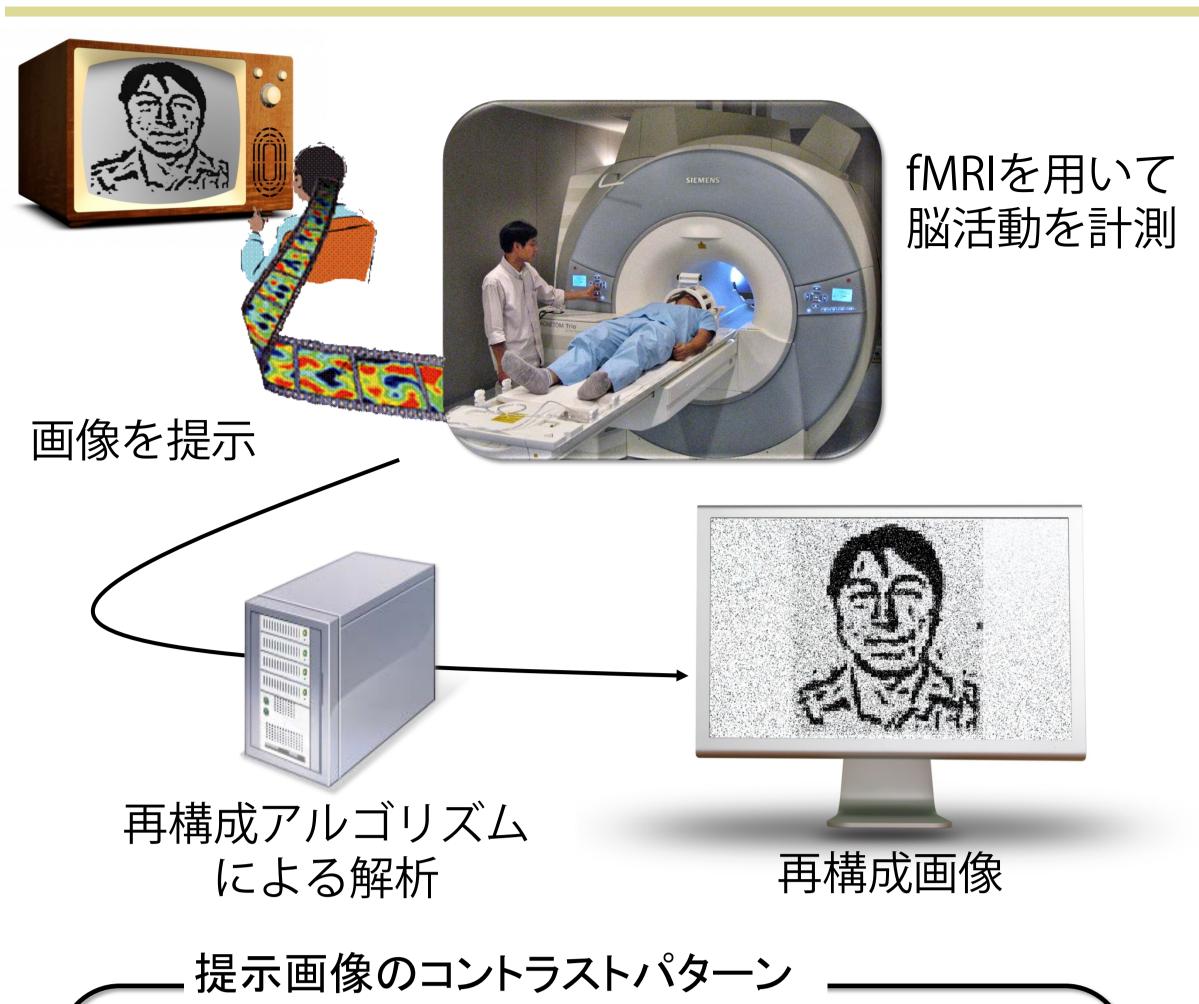
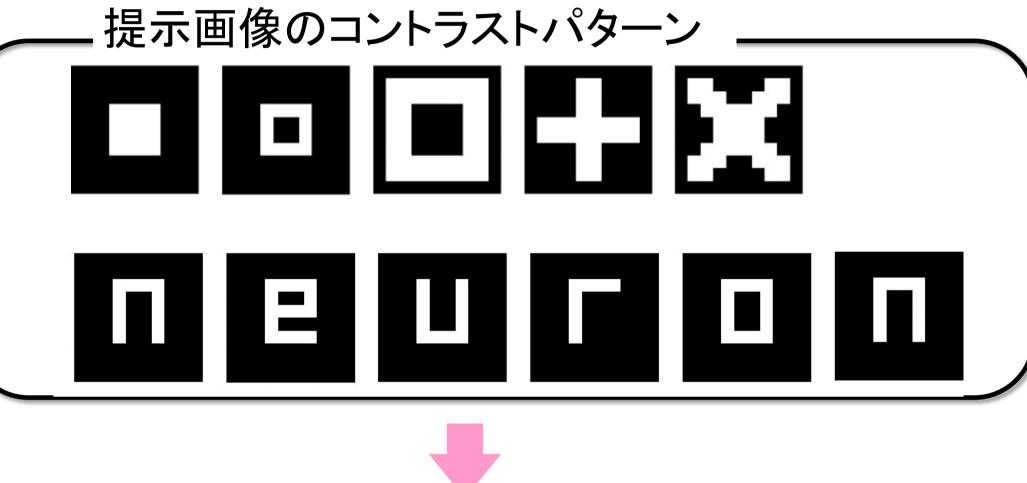
何を見ているか?脳画像から視覚像を再構成

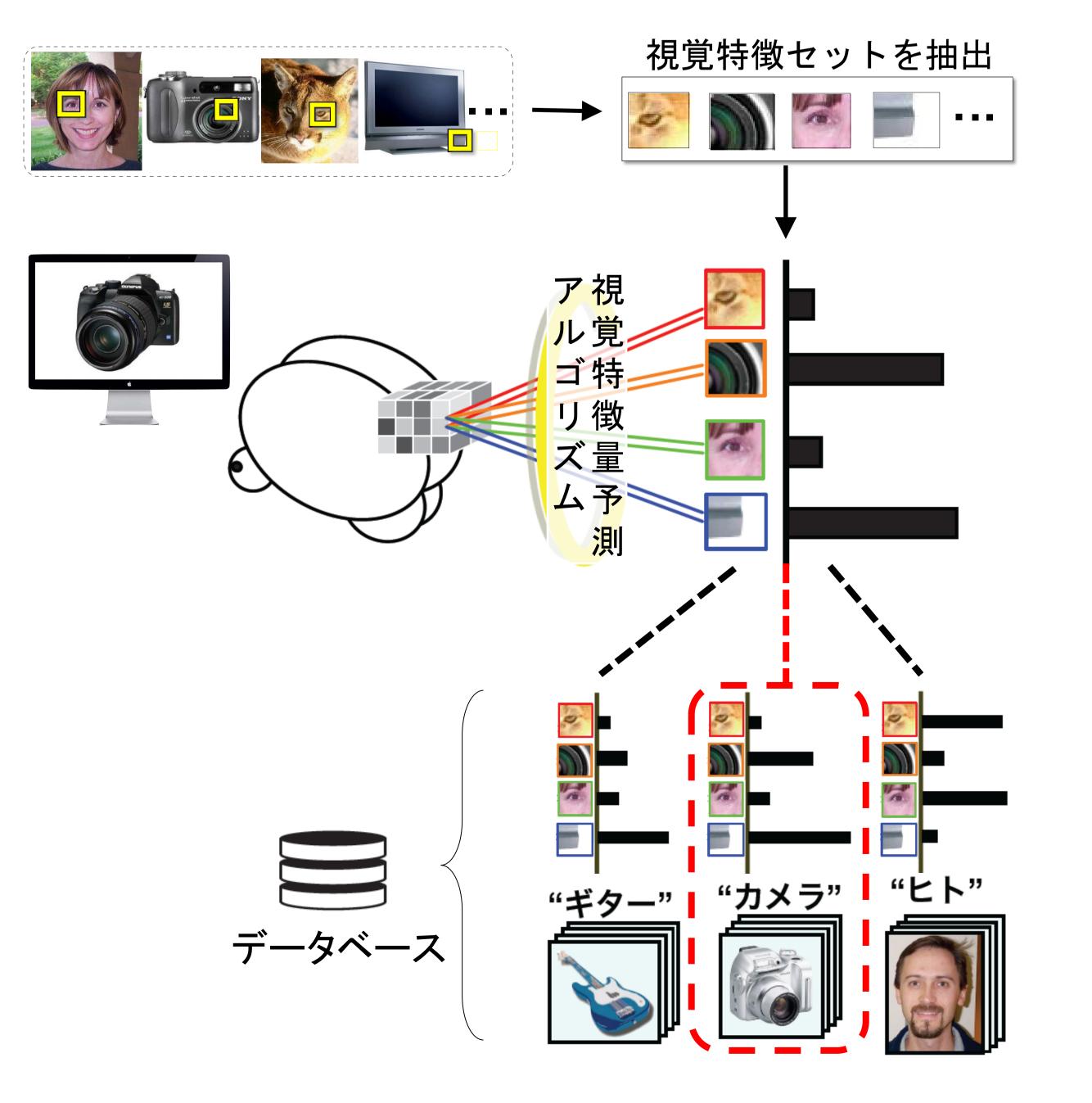


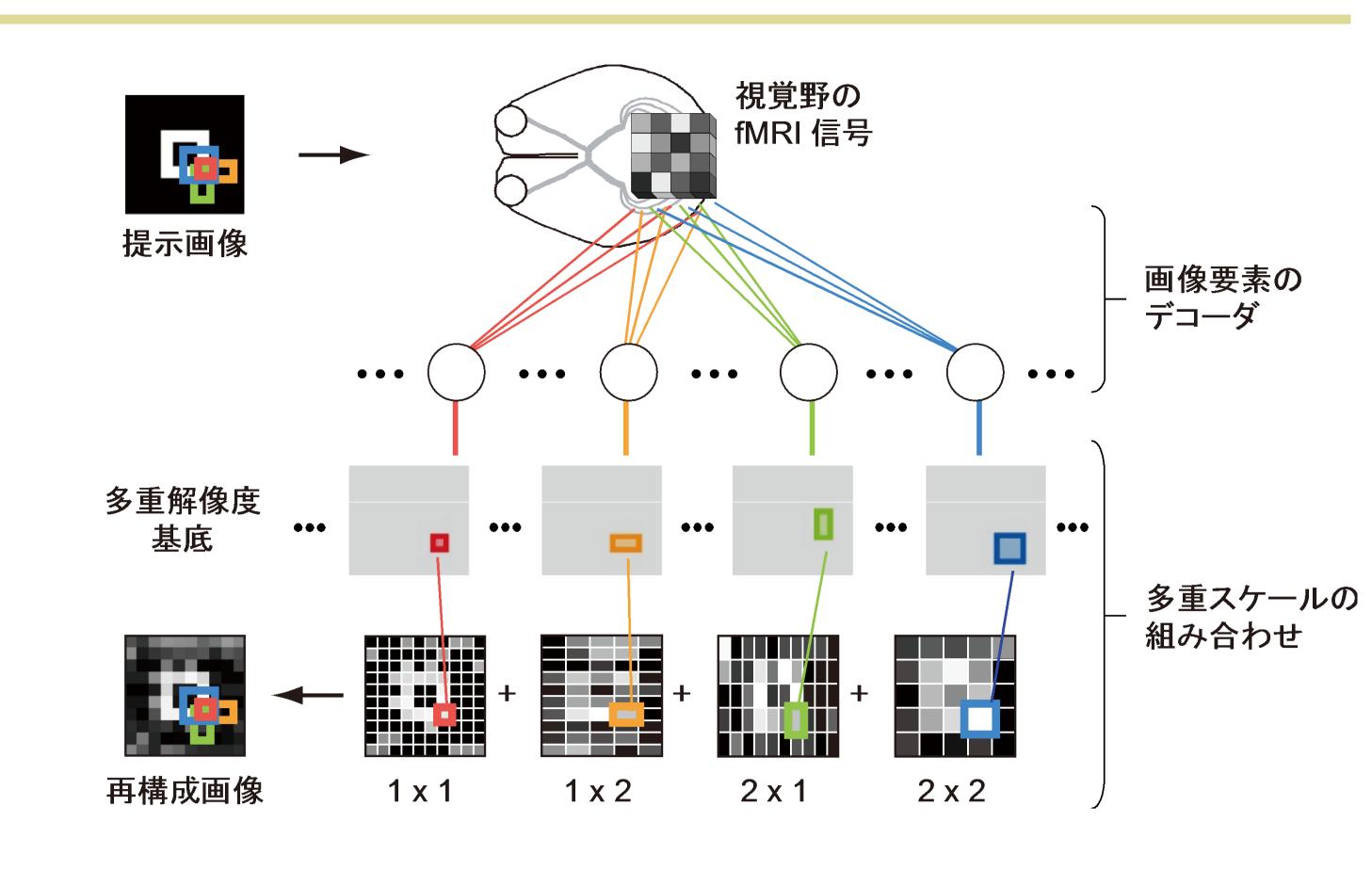




どの物体を見ているか?

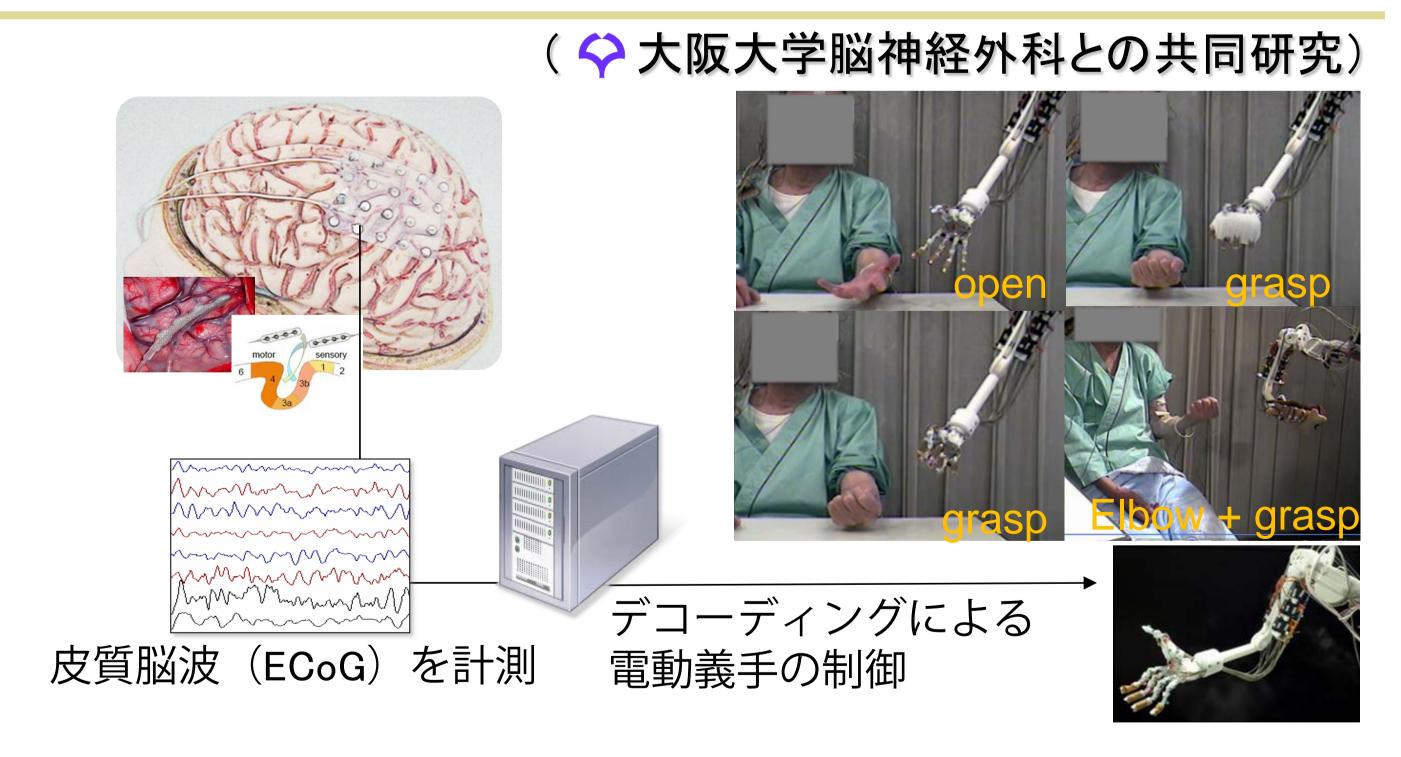
- 一般物体デコーディング
 - 画像に現れる物体のカテゴリ名を出力
 - 脳活動ベースのweb検索システムへ



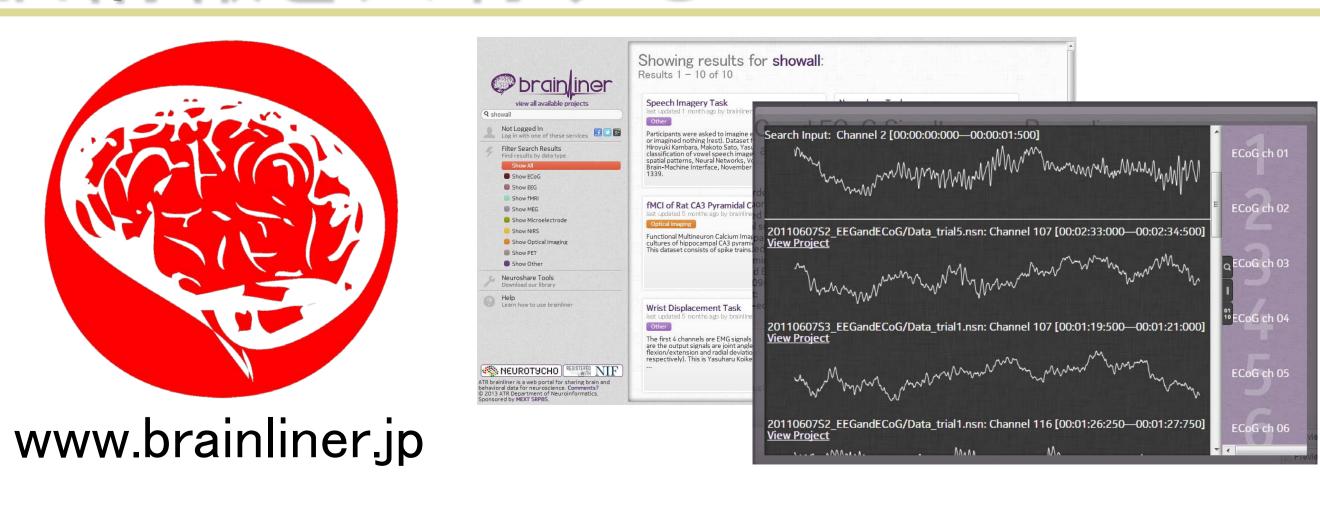


- 従来の方法では、あらかじめデコーダの学習に用いられた数種類の刺激以外は予測出来ないという制約がありました。
- 複数のデコーダを用いて、画像の局所的な小領域の状態を脳活動から並列に予測し、その予測値を組み合わせて画像全体を表現します。
- ランダムなコントラストパターン画像を440パターン観察した際の脳活動から、約1億通り以上のコントラストパターンを識別できる精度で視覚像再構成が可能となります。

何を意図しているか?



脳情報を共有する



- 脳活動と行動の時系列をアラインしたデータ形式
- 登録データプレビュー
- 類似した脳活動パターンの検索